

木津川市選挙管理委員会 会議結果要旨

会 議 名	令和 7 年第 5 回木津川市選挙管理委員会		
日 時	令和 7 年 9 月 1 日（月） 午前 9 時 0 0 分から午前 1 0 時 0 0 分まで	場 所	市役所 4 階 会議室 4－4
出 席 者	和田委員長、福守委員、森川委員、 前田補充員、奥補充員、兎本補充員、高林補充員 事務局 （奥田事務局長、尾崎事務局次長、北尾書記、植澤書記、村上書記）		
会 議 議 題 等	●議事 （1）令和 7 年 9 月選挙人名簿定時登録について （2）裁判員候補者の選定について （3）検察審査員候補者の選定について （4）第 2 7 回参議院議員通常選挙の結果等について ●その他 ・最小選挙区との較差が 2 倍以上となる選挙区について（衆議院小選挙区）		
会 議 要 旨	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 【凡例】 ◆：質疑・意見 ⇒：説明・回答 </div> ●議事 <u>（1）令和 7 年 9 月選挙人名簿定時登録について・・・資料 1</u> ・名簿登録者総数 63,462 人（男 30,125 人・女 33,337 人） ・在外選挙人名簿登録者数 38 人（男 15 人・女 23 人） のとおり確定し、木津川市選挙管理委員会において承認され、京都府選挙管理委員会へ報告した。 ◆参議院選挙時登録からの減少が多い理由は。 ⇒年度の変わり目は転出者が多い傾向にあるが、これらの者に係る 4 か月抹消による。 ◆先の選挙における在外の投票者数は。 ⇒9 名。 <u>（2）裁判員候補者の選定について・・・資料 2</u> ・令和 7 年 6 月定時登録の選挙人名簿登録者総数を基準に、裁判員候補者予定者 1 3 6 人を 9 月定時登録の選挙人名簿登録者から抽出で選定し		

た。

(3) 検察審査員候補者の選定について・・・資料3

・令和7年6月定時登録の選挙人名簿登録者総数を基準に、京都第一検察審査会及び京都第二検察審査会各14名を9月定時登録の選挙人名簿登録者から抽選で選定した。

◆以前候補者となった者が再度候補者となることはあるか。また、辞退可能か。

⇒再度候補者となることはある。辞退することは可能。

◆検察審査会とは

⇒検察官による不起訴処分についてのよしあしを審査するもの。

(4) 第27回参議院議員通常選挙の結果等について・・・資料4

・第27回参議院議員通常選挙の結果について、資料に基づき説明を行った。

◆特定枠制度とは。

⇒参議院の比例代表選挙において、政党等が優先的に当選させたい候補を指定できる制度。

◆ボールペンで投票用紙に記載することについて、投票所で混乱は生じなかったか。

⇒従来は鉛筆での記載を依頼していたが、今般、インクのにじみが無いよう留意した上でのボールペンの使用を可としたことで、大きな混乱は生じなかった。

◆投票所内で選挙公報を閲覧する者がいたため、かばん等にしまうよう依頼した。

⇒投票干渉になりえないよう、かばん等にしまうか投票所外で閲覧するよう依頼することが必要。

◆投票所を体育館から教室に変更できないか。

⇒学校との調整を要する。変更する場合はバリアフリー（段差の有無）や、会場の広さを確保できるかが課題となる。

◆比例代表選挙に係る氏名掲示が小さい。

	<p>⇒府内共同印刷により作成しており、拡大は難しいところである。ルーペの配備等、可能な対応をしている。</p> <p>◆投票済証明書の配布数が増えたように思う。悪用等に対しての対策も必要ではないか。</p> <p>⇒配布数は増えた。悪用対策については、国等の通知に即して判断する。</p> <p>●その他</p> <p><u>最小選挙区との較差が2倍以上となる選挙区について（衆議院小選挙区）</u></p> <p>・・・資料5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都第6区の人口が最小の選挙区（鳥取1区）の人口の2倍以上となっている旨報告を行った。 <p>◆較差が2倍となったら選挙の結果が無効となるのか</p> <p>⇒過去には、違憲状態にあっても選挙無効とはならない判例もあった。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	--